

2021年11月8日

各 位

会社名 朝日印刷株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 朝日重紀  
 (コード番号 3951 東証第二部)  
 問合せ先 専務取締役 広田敏幸  
 (TEL. 076-421-1177)

**2022年3月期 通期連結業績予想の修正、  
 剰余金の配当および配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2021年8月10日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想および配当予想について、下記のとおり、修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、同取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を、下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期の連結業績予想について(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,600 ～39,600	2,030 ～1,580	2,310 ～1,860	1,650 ～1,340	74.52 ～60.52
今回修正予想(B)	38,200	2,030	2,280	1,650	75.22
増減額(B-A)	△2,400 ～△1,400	0 ～450	△30 ～420	0 ～310	0.70 ～14.70
増減率(%)	△5.9 ～△3.5	0.0 ～28.5	△1.3 ～22.6	0.0 ～23.1	0.9 ～24.3
(参考)前期連結実績(2021年3月期)	40,143	2,004	2,408	1,639	74.05

(2) 業績予想修正の理由

新型コロナウイルス感染症の影響は、ワクチン普及により一部行動緩和の動きも見受けられますが、依然として不透明な状況にあり、当社グループの企業業績にも少なからず影響を与えています。しかしながら、当第2四半期の業績動向やお客様を含めた外部の情報、および今後の市場動向などを踏まえて、今後の見通しを再検討し業績予想を修正いたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2021年8月10日公表)	前期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たりの配当金	15円	10円	10円
配当金の総額	329百万円	—	222百万円
効力発生日	2021年12月10日	—	2020年12月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	10円00銭	(未定)	(未定)
今回修正予想		15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	10円00銭	20円00銭	30円00銭

(3) 理由

第2四半期末配当予想は10円、期末配当については未定としておりましたが、この度公表した2022年3月期業績予想に基づき、上記のとおり、修正いたします。

当期の中間配当につきましては、1株につき普通配当15円とさせていただきます。

また、当社の配当の基本方針である連結配当性向30%以上の配当の実施や財務状況などを総合的に判断し、未定としていた期末配当予想は、1株につき普通配当15円とさせていただきます。

(注)上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上